

# 新潟脳神経研究会特別例会の御案内

日時：平成31年1月29日（火）17:00～18:00

場所：脳研究所 1F 検討会室

## 高精細全脳イメージングによる精神・神経疾患の分子病態研究

橋本 均 先生

大阪大学薬学研究科・神経薬理学分野教授

附属創薬センター・iPS脳神経毒性プロジェクト

連合小児発達学研究科・附属子どものこころの発達研究センター

データビリティフロンティア機構・バイオサイエンス部門

先導的学際研究機構・超次元ライフイメージング研究部門

脳には機能が高度に局在し、またそれらが統合されているため、精神・神経疾患の病態解明とその裏返しである脳の理解には、脳をシステムとして捉え、仮説に依らず、アンバイアスに観察・解析することが必要である。このために必要となる全脳（または広範囲の脳領域）の解析は、サブセルラーの解像度で許容時間内に撮影する装置が必要であるが、分解能と撮影速度のトレードオフに技術的な制約があった。そこで私たちは、細胞レベルからサブセルラーレベルで高速に全脳イメージングを行う装置を開発し、さらに構造や神経活動を個体群間で比較するメソッドを開発し、脳疾患に伴う変化や治療薬によるパターンの変化などを解析する研究を行っている。

どうぞ奮ってご参加ください。

（担当：分子神経生物学分野）

新潟大学脳研究所長：那波宏之